

目次

Contents

第1部 共通

1	事故発生時の対応	4
2	KY活動	6
3	指差呼称	9
4	保護具	10
5	応急処置	12
6	熱中症	14
7	アースのとり方	17
8	ガソリン携行缶・給油	18
9	路上駐車・輪止め	20
10	埋設管破損	22
11	蜂	24

第2部 調査

12	回転部の作業	26
13	雑草地運搬・作業	27
14	ハシゴ作業	28

第3部 工事

15	死角作業	30
----	------	----

16	軟弱地盤（不陸）での重機の転倒	32
17	玉掛・クレーン作業	34
18	重機輸送時の固定	36
19	スラリーホースおよび油圧ホースの破裂	38
20	固化材飛散	40
21	溶接	42
22	巻き込まれ	44

《構成について》

本手帳は全3部より構成されております。

- ▶ **第1部 共通**…「地盤調査・補強工事共通編」
- ▶ **第2部 調査**…「地盤調査編」
- ▶ **第3部 工事**…「改良工事編」

全ての安全項目を網羅するものではなく、現場でよくあることを中心にまとめました。

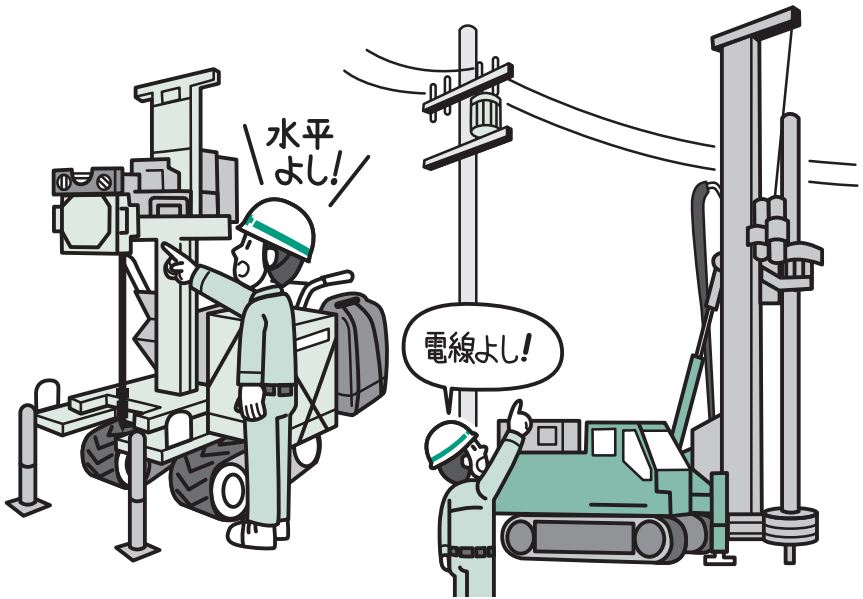
発生事例や低減策にイラストなどを交え分かりやすく説明を加えました。

ポケットサイズになっておりますので、現場に常備して頂き、万が一の時の対応の備えとしてご活用ください。

3 指差呼称

●指差呼称の目的

KY活動の最後に行う指差呼称は、指で確認の対象を指し、見たものを言い、言った言葉を自分の耳で聞くものである。指や口や目の筋肉を動かすことで、脳の覚醒を促し、意識レベルや確認の精度を上げることができる。



●指差呼称の効果

「○○注意ヨシ!」「○○確認ヨシ!」などと発声しながら注意・確認すべきものを指で差すことで、危険箇所・注意すべき事項の意識が高まる。